

里海セミナー

能登里海教育研究所
Institute of Noto SATOUMI Education and Studies

Supported by 日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

共催 金沢大学環日本海域環境研究センター



アカクラゲに共生するイボダイ類魚(瀬戸内海)



ヒゼンクラゲに共生するクモヒトデ類(タイ)

ミズクラゲに共生するオオウチワエビのフィロソーマ幼生(日本海)

演題 クラゲって悪者？ いいえ、水の母です

要旨：クラゲと言えば、海水浴の時に刺される、発電所をストップさせる、漁業被害を起こす、などの悪いイメージがある一方、水族館では癒し系の動物、中華料理の前菜、コラーゲン、ムチンなどの体成分が有用物質として利用されている、など人間にとっても有効に利用されている。自然界では肉食者として一般には認識されているが、実は多くの海洋動物が共生しており、特にアジ、イボダイ、タラの生活史初期にとっては重要な宿主でもある。魚類のほかどのような共生動物がいて、どのようにクラゲ類を利用しているかをお話する。また、東南アジアでのクラゲ漁業を紹介する。

演者：大塚 攻

広島大学大学院生物圏科学研究科 教授
(附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター 竹原ステーション)

日時：12月19日(火) 10:30~11:30

場所：うみとさかなの科学館
(石川県海洋漁業科学館・能登町宇出津新港3-7)

*どなたでも来聴いただけます。来場希望者は、下記に申し込みください。申し込みなしでの当日参加も可能です。

参加申込先：一般社団法人 能登里海教育研究所

〒927-0553 石川県鳳珠郡能登町小木34-11

電話 0768-74-1017 (Fax兼)

メール: satoumijimu@yahoo.co.jp